

神戸市内景況・雇用動向調査

第46回 結果報告書

令和8年3月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2026年3月）～結果の概要～	3
（1）業況	6
（2）生産・売上	8
（3）原材料・仕入れ価格	10
（4）採算	12
（5）資金繰り	14
3. アンケート内容（オンライン調査）	21

1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市内景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数：704、回収率：35.2%）

回収状況	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	5	56	81	142 (400)
食料品	1	6	8	15 (34)
化学・石油	0	7	11	18 (42)
ゴム	2	4	14	20 (58)
鉄鋼・金属	0	13	16	29 (49)
一般機械	0	6	6	12 (84)
電信・輸送	2	9	9	20 (60)
その他	0	11	17	28 (73)
非製造業	11	256	287	554 (1,600)
建設業	0	10	55	65 (125)
運輸・倉庫業	1	18	14	33 (70)
卸売業	1	34	35	70 (113)
小売業	2	46	59	107 (310)
不動産業	0	13	43	56 (111)
情報サービス	0	11	9	20 (36)
宿泊・飲食	2	36	15	53 (311)
対事業所	2	55	33	90 (286)
対個人	3	33	24	60 (238)
合計	16	314	371	701 (2,000)

() 内は調査対象企業数

(定義)

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）従業員数5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

(3) 調査期間 2026年3月1日（日）～2026年3月20日（金）

(4) 集計・ 報告書の数値は、DI(ディフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合（%）

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合（%）

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

2. 神戸経済の動向（2026年3月）～結果の概要～

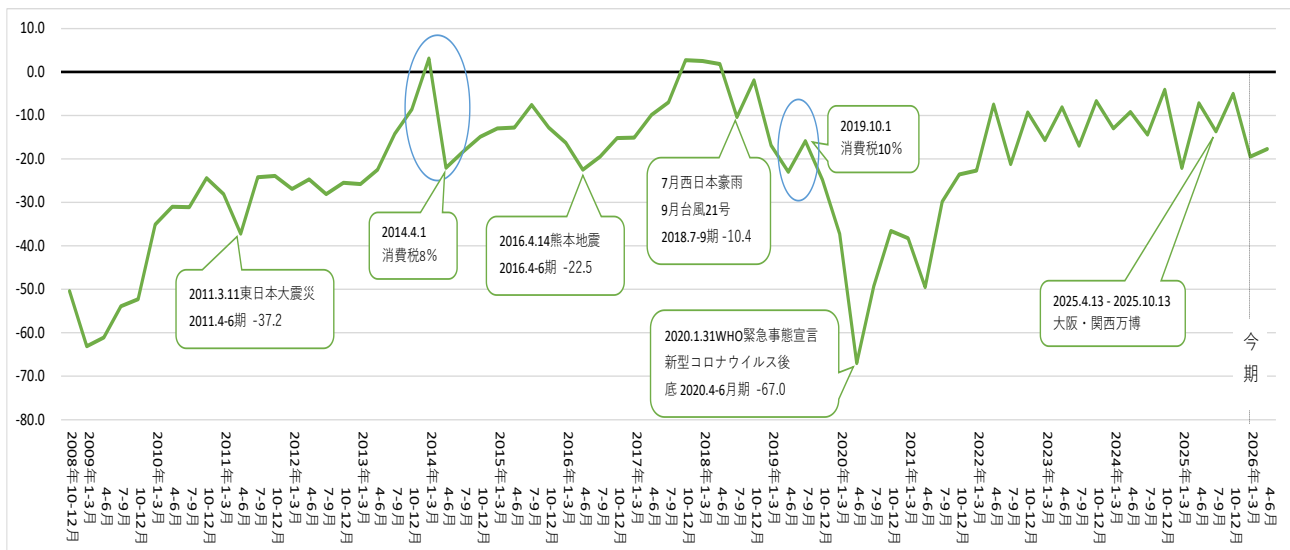
自社業況DIは、全産業でマイナス 19.5 ポイントと、前期より 14.5 ポイントの低下

先行きについて、来期は増加傾向に転じる見通し

- 今期（2026年1～3月期）の業況DIは▲19.5と、前期（▲5.0）と比べて14.5ポイント**低下**した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲17.5と、前期（▲5.6）より11.9ポイント**低下**した。
非製造業の今期の業況DIは▲20.0と、前期（▲4.7）より15.3ポイント**低下**した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは▲6.2と、前期（31.2）より37.4ポイント**低下**した。
中規模企業の業況DIは▲15.3と、前期（4.8）より20.1ポイント**低下**した。小規模企業の業況DIは▲24.0と、前期（▲14.8）より9.2ポイント**低下**した。
- 先行きについて、来期（2026年4～6月期）の業況DIは▲17.7と、今期（▲19.5）より1.8ポイント**増加**する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：704社、回収率：35.2%）

【調査時期】 2026年3月1日（日）～2026年3月20日（金）

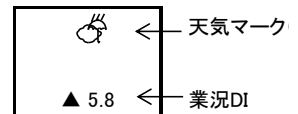


区分1	区分2	業況DI（上昇一下降）		
		2025.10~12	2026.1~3	2026.4~6 （予測）
全体		-5.0	-19.5	-17.7
規模別	大規模	31.2	-6.2	12.5
	中規模	4.8	-15.3	-10.2
	小規模	-14.8	-24.0	-25.4
業種別	製造業	-5.6	-17.5	-15.4
	非製造業	-4.7	-20.0	-18.0

【業種別動向】(前期:令和7年10月~12月期、今期:令和8年1月~3月期、来期:令和8年4月~6月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
	全体	▲ 5.0	▲ 19.5	▲ 17.7	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
製造業	食料品等	26.7	▲ 33.4	6.6	・販売量の増加に伴って売上も増加しており、全体的に好転している。(食料品製造業) ・今期は売上が減少したが、取引先は減っておらず新規案件も未定のため来期は横ばいの見込み。(食料品製造業)
	化学・石油製品等	11.1	▲ 11.1	▲ 5.6	・原材料の仕入れ価格上昇は一部に留まり売上に影響はなく、来期も原材料費の価格改定の話はあるが大きな影響はないと見込んでいる。(プラスチック製品製造業) ・材料費の高騰が続く一方で価格転嫁ができず利益が圧迫されており、来期も原材料費が上がり続ける以上は厳しい状況が続くと予測している。(プラスチック製品製造業)
	ゴム製品製造業	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 4.7	・今期は理由不明ながら受注と売上が明確に減少しており、来期中東情勢によるコスト増や先行きの不透明感から下降傾向が続くと予想。(ゴム製品製造業) ・原材料費の高騰などの影響もなく今期は横ばいであり、来期も不変と選択したが、中東情勢については注視している。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	0.0	▲ 6.9	▲ 24.1	・半導体、原発関連の受注増により今期は売上が上昇したが、来期は世界情勢による変動リスクを抱えており、仕入、販売価格の高騰を見込む。(非鉄金属製造業) ・今期は受注件数の増加により売上が上昇したが、来期は原材料費の高騰や人件費増の影響もあり横ばいと予測。(金属製品製造業)
	一般機械器具	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	・弊社は完全受注生産で納品まで約1年かかるため、短期的な変化はなく今期は不変となったが、来期は下降の見込み。(はん用機械器具製造業) ・今期、来期ともに、既存の取引先から制作ではなく設計の案件を多く受注している事で円安や原材料費の高騰の影響を受けていない。(生産用機械器具製造業)
	電信・輸送機器等	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 35.0	・今期は大手の設備投資や公共事業の決定遅れにより受注が減少し、来期の見通しも立っていない。(電気機械器具製造業) ・一昨年、昨年は船用品の特需の恩恵を受けていたが、需要が通常に戻ったため今期は下降。来期は平常通りを維持する見込み。(電気機械器具製造業)
	その他の製造業	▲ 25.0	▲ 10.7	▲ 14.2	・年度末の新規案件受注で今期は上昇、来期も複数の受注予定案件を控えており上昇を継続する見込み。(家具・装備品製造業) ・今期は選挙等のイベント特需で受注が増加したが、来期は特需の反動減と原材料費の高騰による価格転嫁の課題を抱えている。(その他の製造業)
非製造業	建設業	▲ 3.1	▲ 13.9	▲ 20.0	・仕事量は安定しており、中東情勢に起因する資材や燃料価格の高騰に対してもバランスを取りながら現状維持できると見込んでいる。(電気設備工事業) ・今期、来期ともに工事量や入札が少ない時期であり、大きな変動はなく現状維持を予想。(設備工事業)
	運輸・倉庫業	▲ 12.1	▲ 39.4	▲ 15.1	・米中情勢や燃料、各種資材価格の継続的な高騰により先行きは不透明であるが、最低でも現状維持できるよう努めている。(道路貨物運送業) ・今期は中国の春節による取扱量減少で下降するが、来期は取引が再開し取扱量が戻る見込み。ただし中東情勢に起因する物流コスト増の価格転嫁が課題。(倉庫業)
	卸売業	1.4	▲ 24.7	▲ 8.7	・全体的な販売不振で売上は減少しているが、仕入れ価格の上昇は一旦落ち着くと見込み来期は不変と予想。(繊維・衣服等卸売業) ・大手競合への受注流出と原材料費の高騰の影響で、今期、来期ともに受注不振を見込む。(機械器具卸売業)
	小売業	▲ 15.9	▲ 24.3	▲ 26.1	・急激な円安と現地価格の高騰による仕入れコスト増に対し価格転嫁が追いつかず、また中東情勢による取引環境の悪化も懸念。(その他の小売業) ・原材料費の高騰による価格転嫁が顧客の買い控えを招き今期の売上は減少、来期は現状維持での回復を目指す。(その他の小売業)
	不動産業	▲ 1.8	▲ 5.3	▲ 7.1	・不動産賃貸管理のみを行っており、また物件の売却も進めているため事業規模は縮小傾向にある。(不動産賃貸業) ・特別な施策を実施する予定もなく、今後も現状維持が見込まれる。(不動産賃貸業)
	情報サービス	0.0	0.0	▲ 10.0	・今年初めから相談や商談が増加しており、4月以降も引き続き売上の増加を見込んでいる。(情報サービス業) ・今期は選挙関連の案件で売上が上昇したが、来期は単価下落や案件減少により下降の見込み。(情報サービス業)
	宿泊・飲食	▲ 7.6	▲ 37.8	▲ 20.7	・インバウンド需要の減少が続いており、復興の兆しが見えず売上についても減少が続く見込み。(飲食業) ・昨年が好調であったことに対して今年は伸び代がなく、来期も物価上昇により見通しが不透明。(飲食業)
	対事業所サービス	6.5	▲ 9.8	▲ 25.0	・アナログからデジタルへの移行に対する対応が遅れており、先行きが不透明。(広告業) ・業種的に年間変動が少なく、また車の納期遅延の影響で繁忙期の売上が平準化されている。(自動車整備業)
	対個人サービス	▲ 8.3	▲ 23.4	▲ 13.3	・毎月一定の売上がある業種だが、来期は人件費や原材料費の高騰により厳しくなる見込み。(洗濯・理容・美容・浴場業) ・今期は自助努力により売上が増加したが、来期は卒業シーズンを迎えた生徒の減少で売上も落ち込むと予想。(教育・学習支援業)

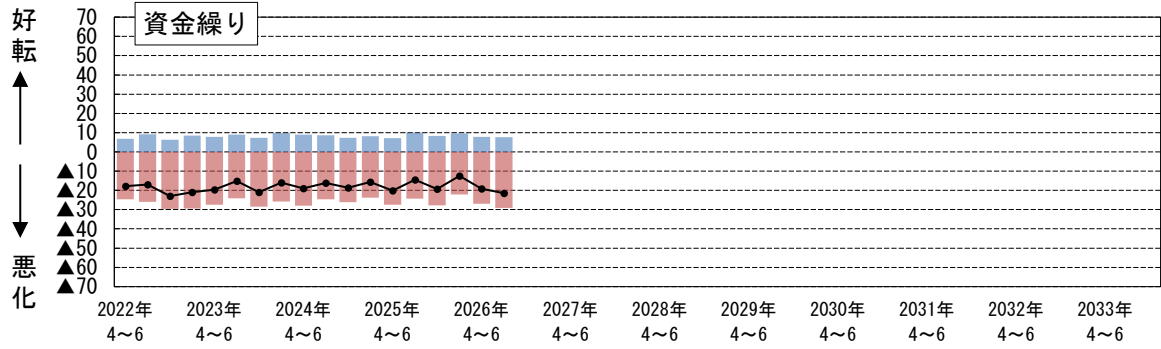
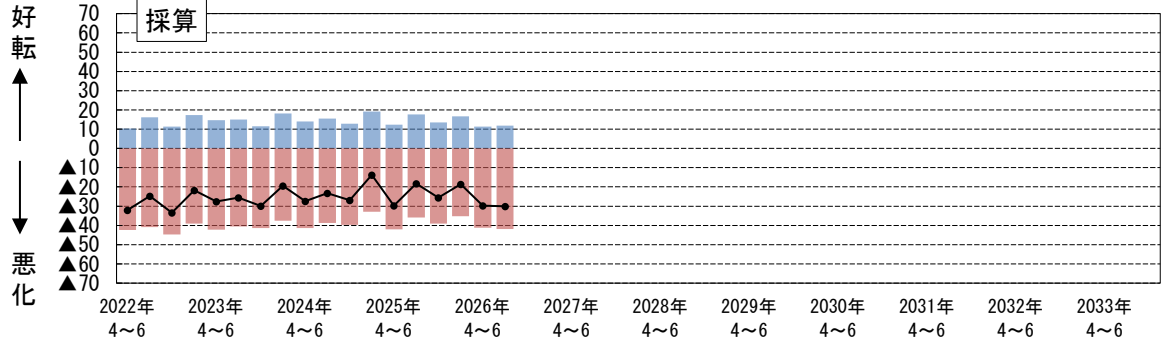
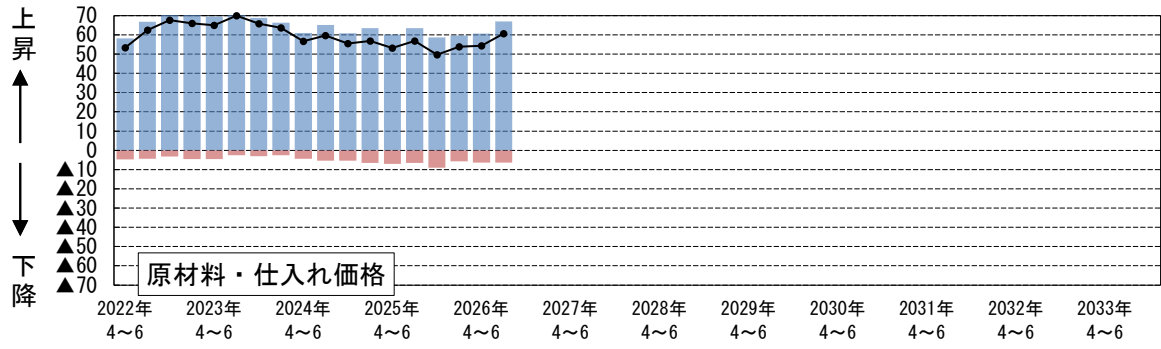
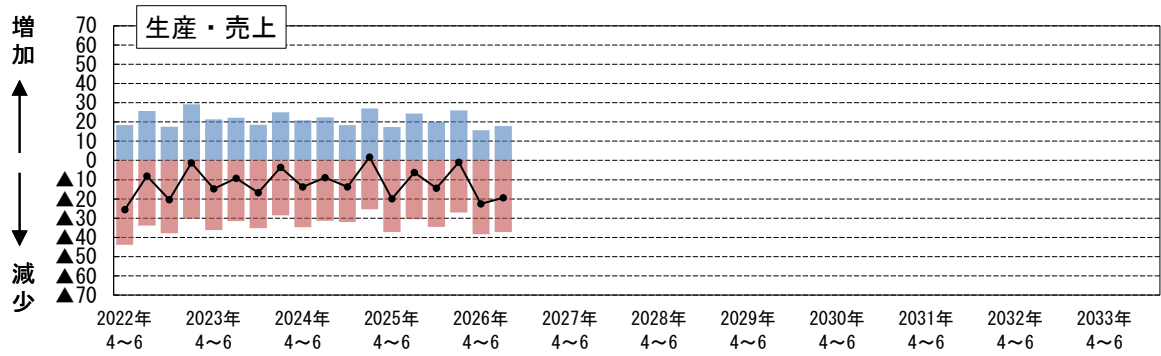
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

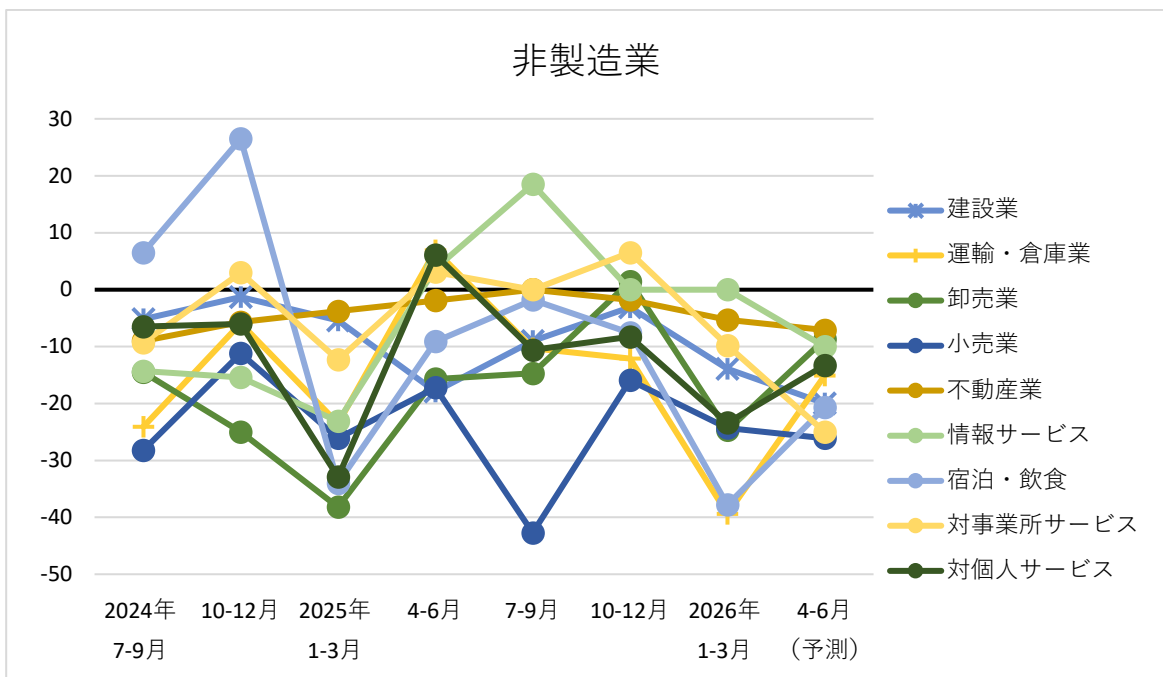
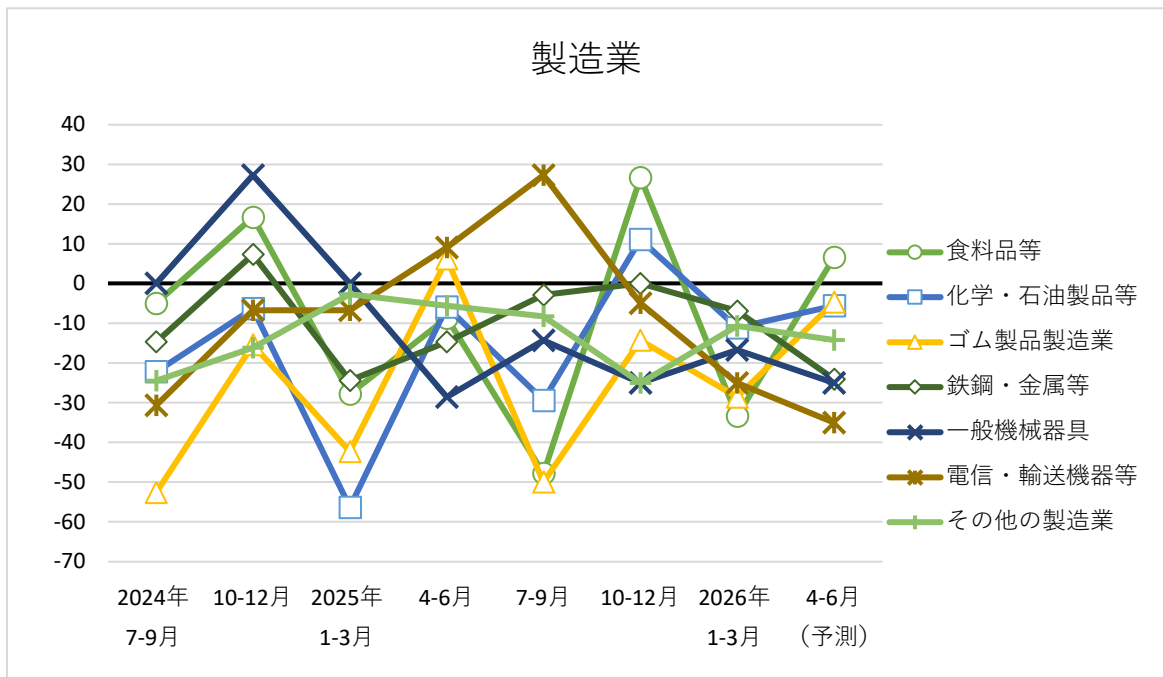
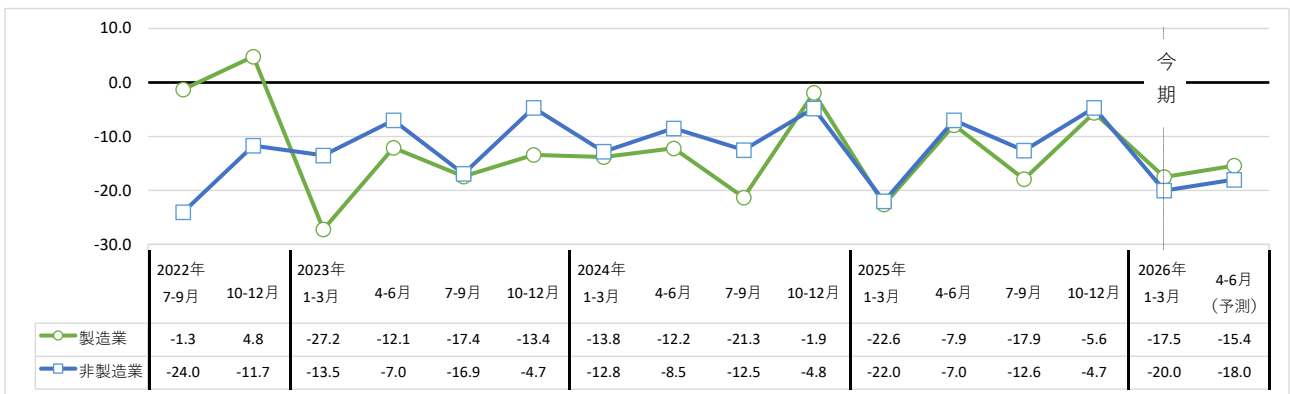
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

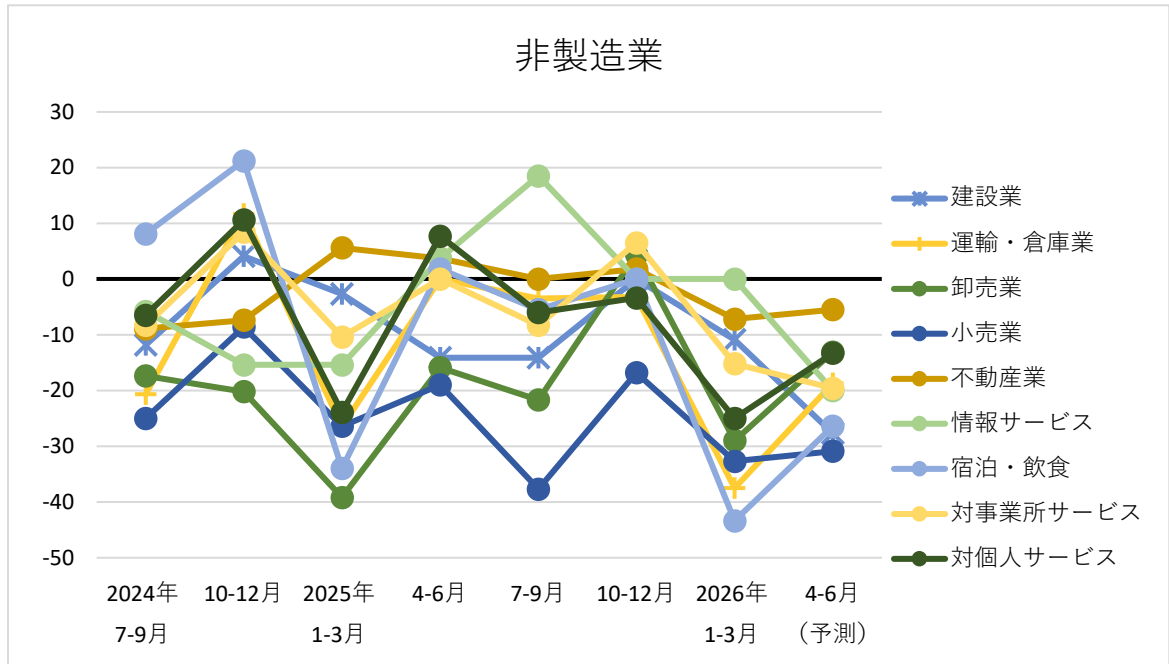
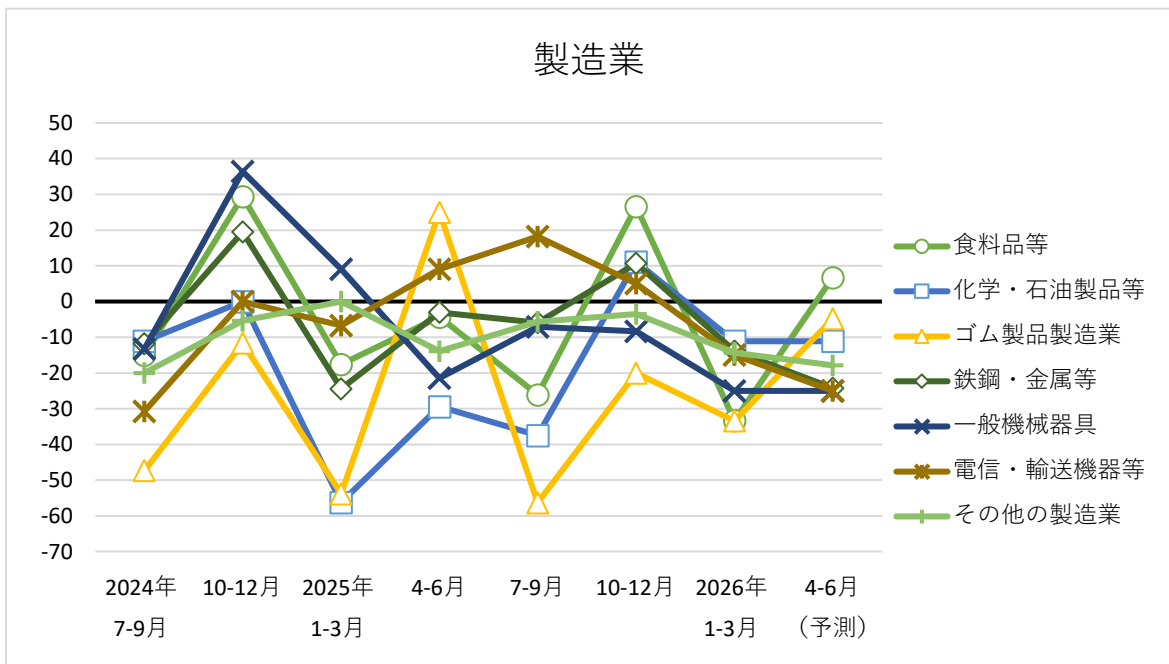
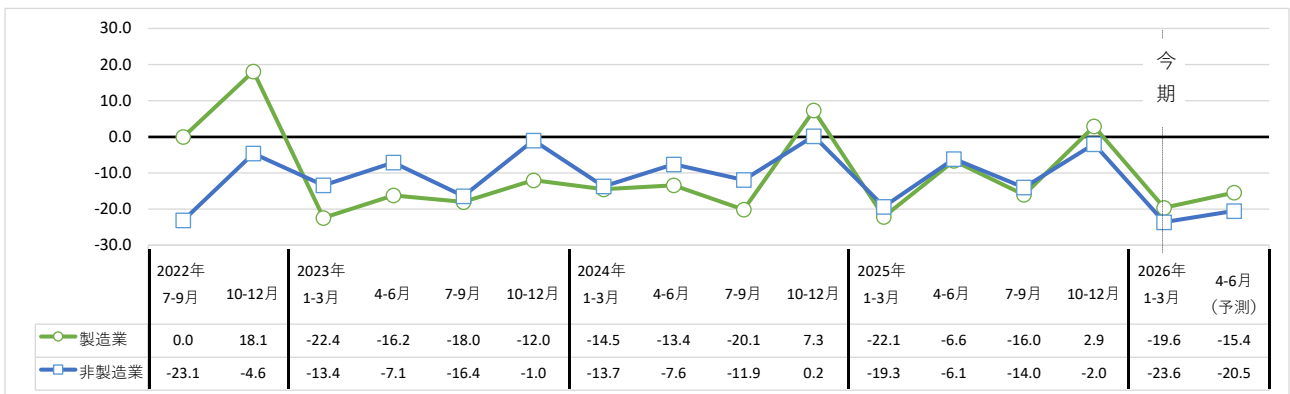


区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇一下降）			
			2025.10~12	2026.1~3	2026.4~6 （予測）	
全体			-5.0	-19.5	-17.7	
規模別	大規模		31.2	-6.2	12.5	
	中規模		4.8	-15.3	-10.2	
	小規模		-14.8	-24.0	-25.4	
業種別	製造業		-5.6	-17.5	-15.4	
		食料品等	26.7	-33.4	6.6	
		化学・石油製品等	11.1	-11.1	-5.6	
		ゴム製品製造業	-14.3	-28.6	-4.7	
		鉄鋼・金属等	0.0	-6.9	-24.1	
		一般機械器具	-25.0	-16.7	-25.0	
		電信・輸送機器等	-5.0	-25.0	-35.0	
		その他の製造業	-25.0	-10.7	-14.2	
		非製造業		-4.7	-20.0	-18.0
			建設業	-3.1	-13.9	-20.0
			運輸・倉庫業	-12.1	-39.4	-15.1
			卸売業	1.4	-24.7	-8.7
			小売業	-15.9	-24.3	-26.1
			不動産業	-1.8	-5.3	-7.1
			情報サービス	0.0	0.0	-10.0
			宿泊・飲食	-7.6	-37.8	-20.7
		対事業所サービス	6.5	-9.8	-25.0	
		対個人サービス	-8.3	-23.4	-13.3	

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

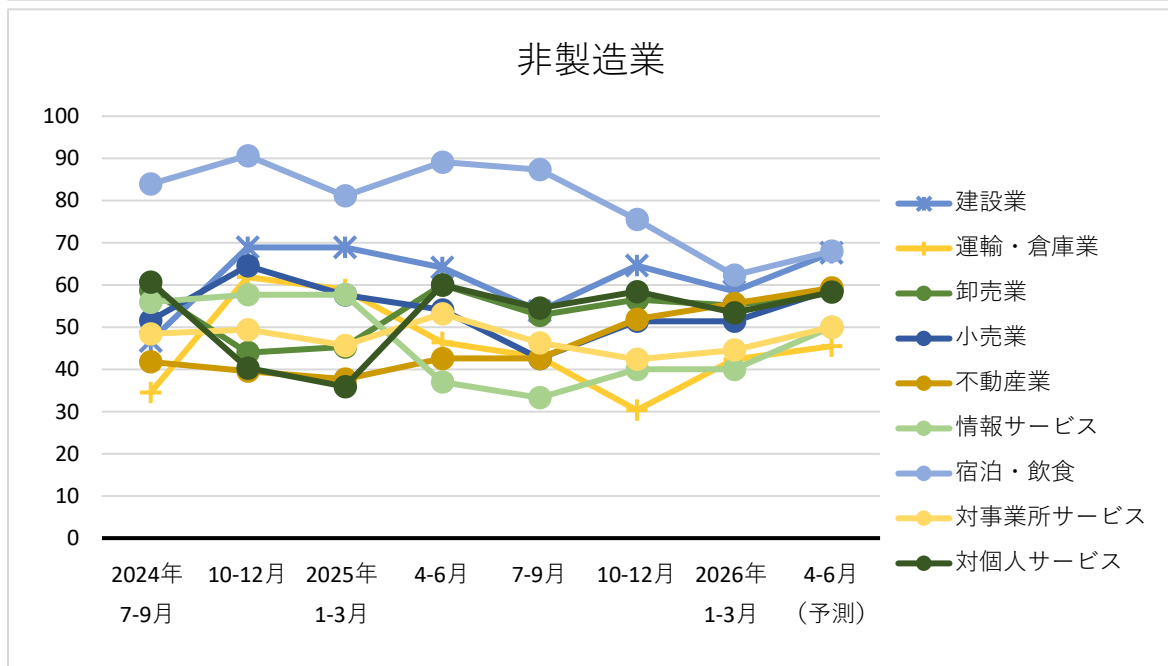
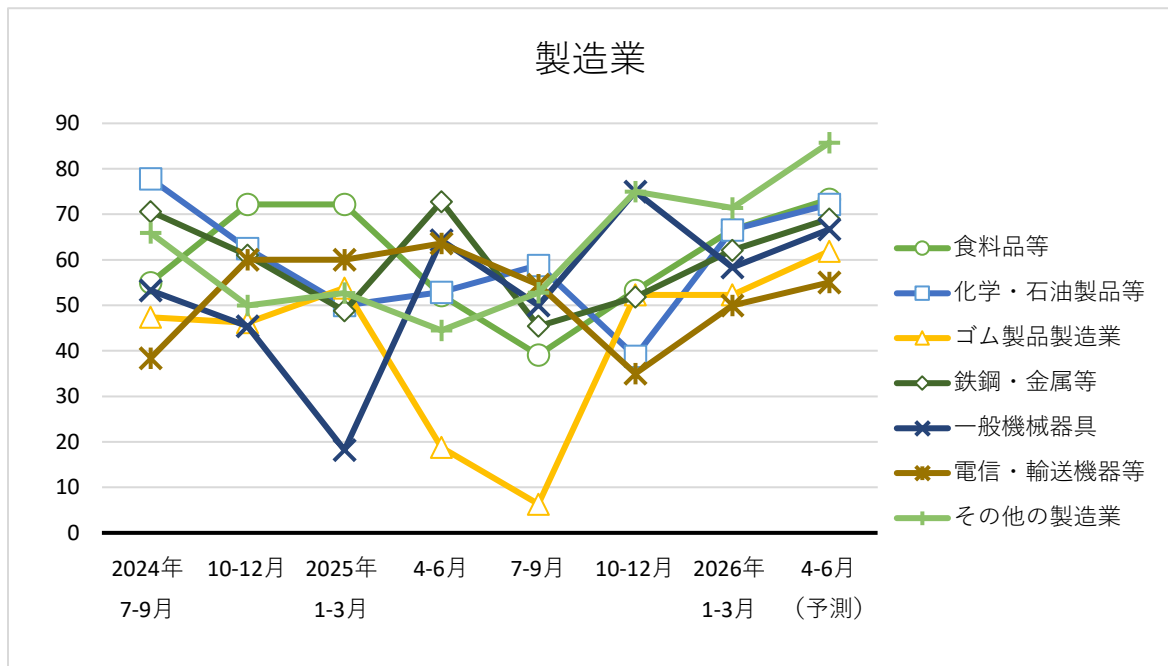
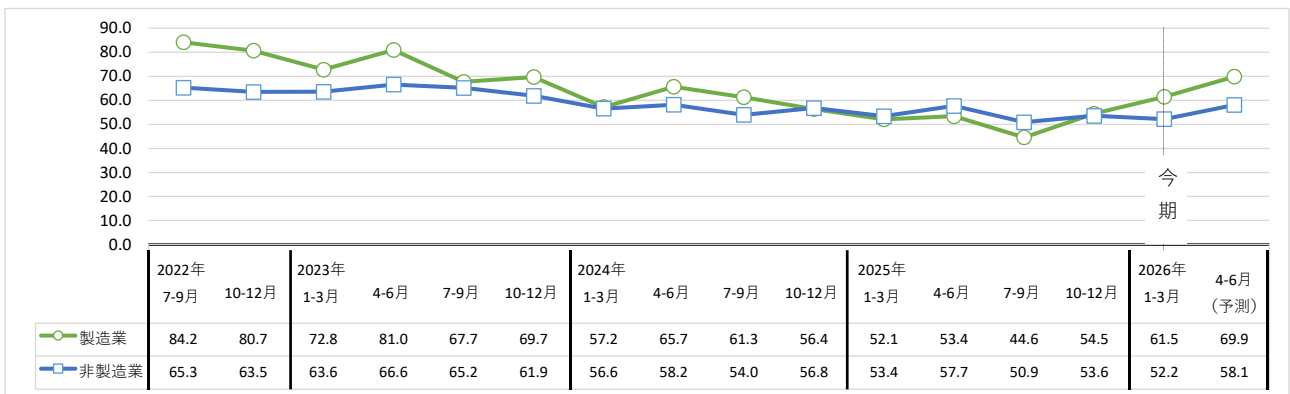


区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）		
			2025.10~12	2026.1~3	2026.4~6 （予測）
全体			-1.0	-22.6	-19.4
規模別	大規模		20.0	0.0	12.5
	中規模		9.6	-20.8	-9.0
	小規模		-10.8	-25.2	-29.7
業種別	製造業		2.9	-19.6	-15.4
		食料品等	26.6	-33.3	6.7
		化学・石油製品等	11.1	-11.1	-11.1
		ゴム製品製造業	-20.0	-33.4	-4.8
		鉄鋼・金属等	10.7	-13.8	-24.2
		一般機械器具	-8.3	-25.0	-25.0
		電信・輸送機器等	5.0	-15.0	-25.0
		その他の製造業	-3.5	-14.3	-17.8
		非製造業	-2.0	-23.6	-20.5
		建設業	0.0	-10.9	-27.7
		運輸・倉庫業	-3.2	-37.5	-18.7
		卸売業	4.4	-29.0	-13.1
		小売業	-16.8	-32.7	-30.9
		不動産業	1.8	-7.2	-5.5
		情報サービス	0.0	0.0	-20.0
		宿泊・飲食	0.0	-43.4	-26.4
	対事業所サービス	6.5	-15.2	-19.6	
	対個人サービス	-3.4	-25.0	-13.3	

(3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

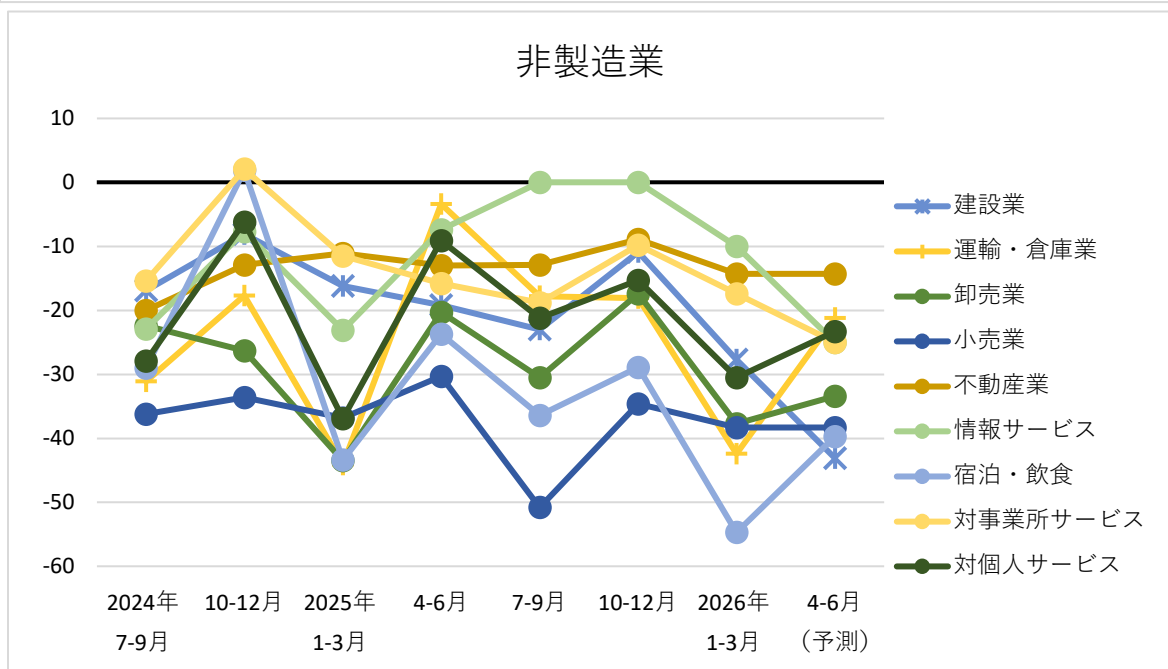
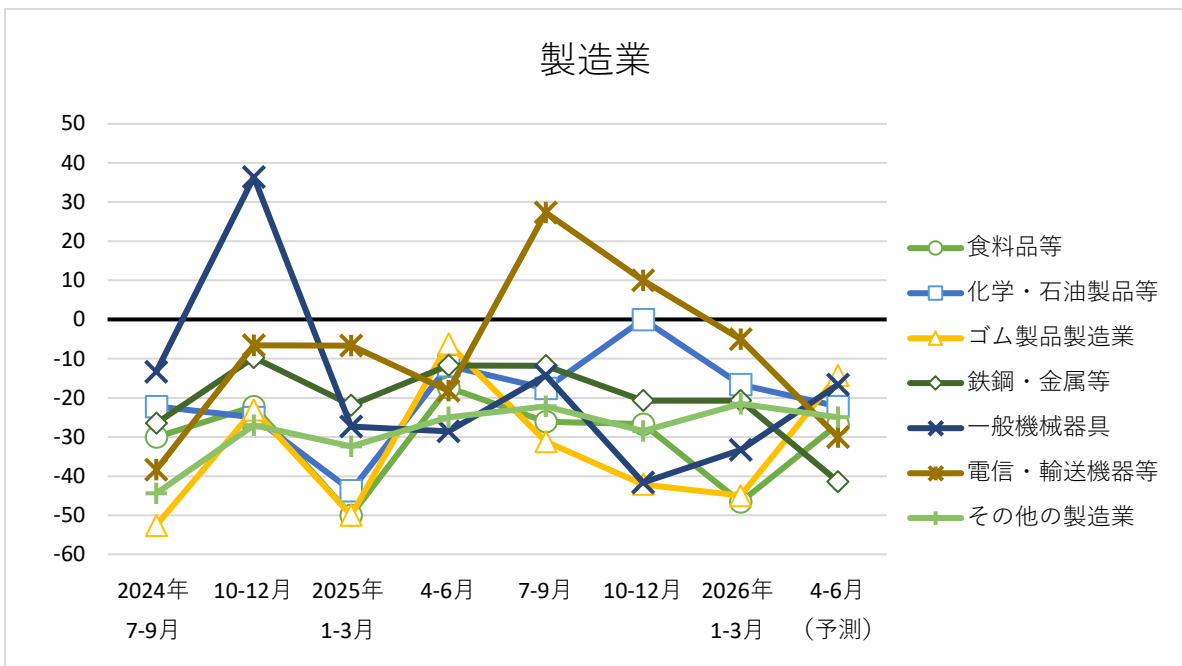
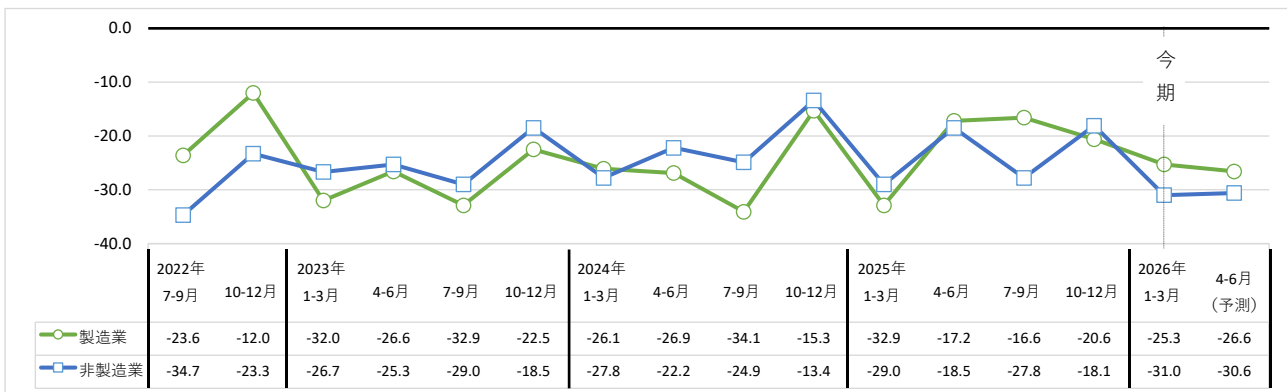


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇－下降）		
			2025.10~12	2026.1~3	2026.4~6 （予測）
全体			53.9	54.3	60.7
規模別	大規模		50.0	37.5	68.8
	中規模		57.6	60.2	65.6
	小規模		51.3	50.3	56.4
業種別	製造業		54.5	61.5	69.9
		食料品等	53.3	66.6	73.3
		化学・石油製品等	38.8	66.6	72.2
		ゴム製品製造業	52.3	52.3	61.9
		鉄鋼・金属等	51.8	62.1	69.0
		一般機械器具	75.0	58.3	66.7
		電信・輸送機器等	35.0	50.0	55.0
		その他の製造業	75.0	71.4	85.7
		非製造業	53.6	52.2	58.1
		建設業	64.6	58.5	67.6
		運輸・倉庫業	30.3	42.4	45.5
		卸売業	56.5	55.1	58.6
		小売業	51.4	51.4	58.9
		不動産業	51.9	55.6	59.3
		情報サービス	40.0	40.0	50.0
		宿泊・飲食	75.5	62.3	68.0
	対事業所サービス	42.4	44.6	50.0	
	対個人サービス	58.4	53.4	58.3	

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

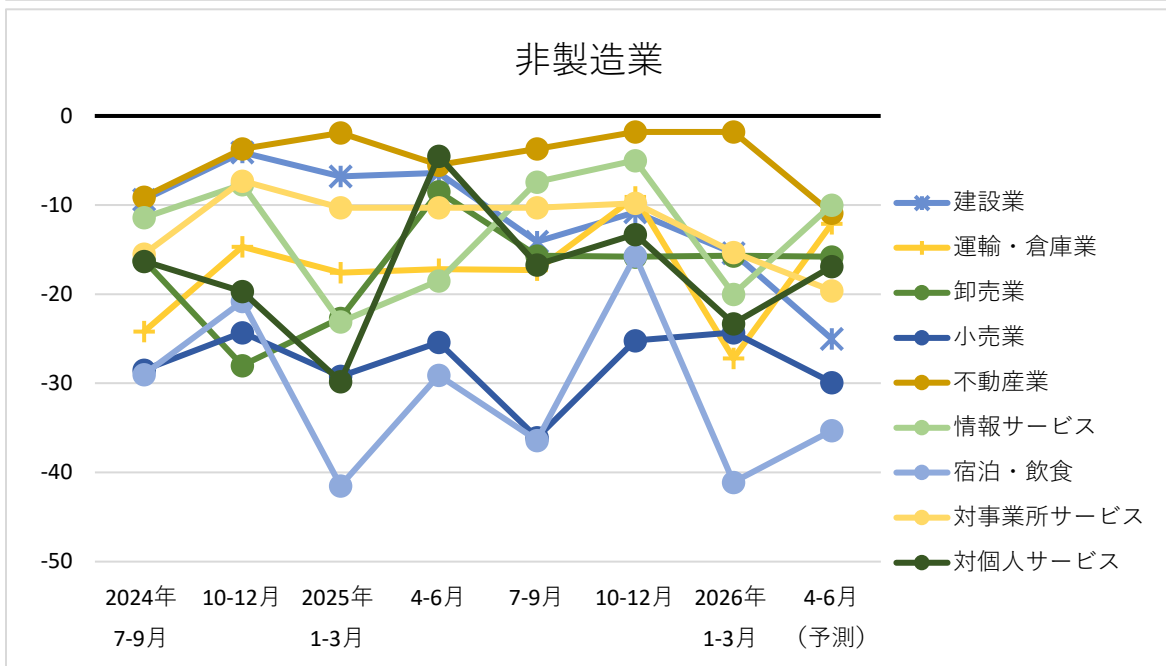
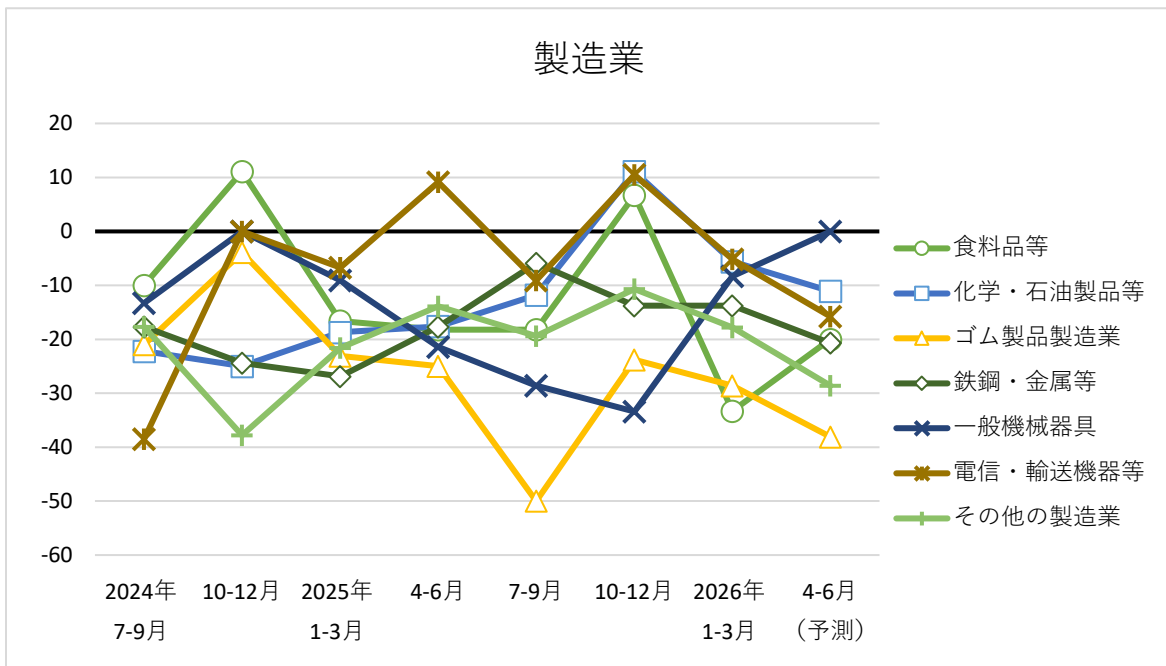
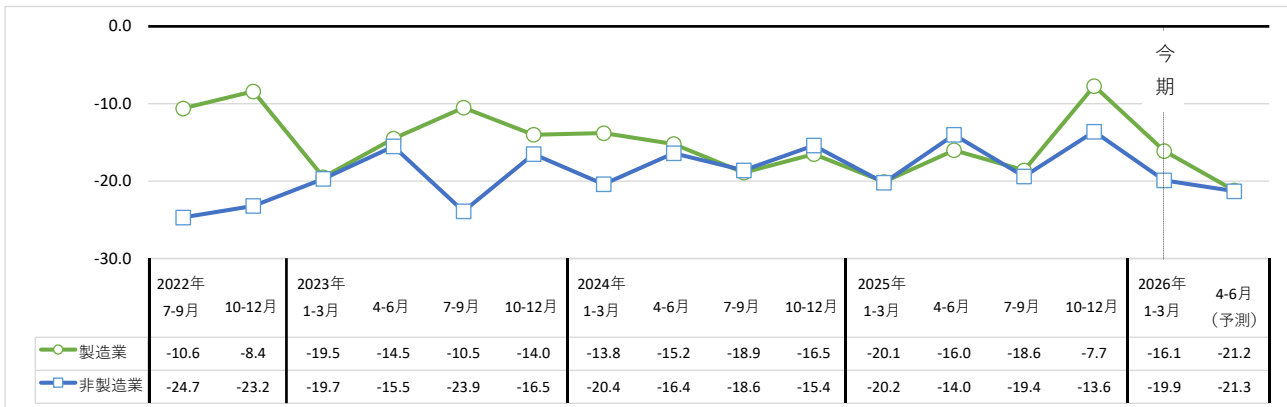


区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）		
			2025.10~12	2026.1~3	2026.4~6 （予測）
全体			-18.6	-29.8	-30.0
規模別	大規模		33.3	0.0	6.2
	中規模		-12.5	-27.5	-24.0
	小規模		-26.1	-33.2	-36.9
業種別	製造業		-20.6	-25.3	-26.6
		食料品等	-26.7	-46.6	-26.7
		化学・石油製品等	0.0	-16.6	-22.2
		ゴム製品製造業	-42.1	-45.0	-14.3
		鉄鋼・金属等	-20.7	-20.7	-41.4
		一般機械器具	-41.6	-33.3	-16.6
		電信・輸送機器等	10.0	-5.0	-30.0
		その他の製造業	-28.5	-21.5	-25.0
		非製造業	-18.1	-31.0	-30.6
		建設業	-10.9	-27.7	-43.1
		運輸・倉庫業	-18.1	-42.4	-21.2
		卸売業	-17.4	-37.7	-33.4
		小売業	-34.6	-38.3	-38.3
		不動産業	-8.9	-14.3	-14.3
		情報サービス	0.0	-10.0	-25.0
	宿泊・飲食	-28.9	-54.7	-39.7	
	対事業所サービス	-9.8	-17.4	-25.0	
	対個人サービス	-15.3	-30.5	-23.3	

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）			
			2025.10~12	2026.1~3	2026.4~6 （予測）	
全体			-12.5	-19.1	-21.4	
規模別	大規模		18.8	6.2	6.3	
	中規模		-5.1	-15.6	-15.3	
	小規模		-20.1	-23.4	-27.8	
業種別	製造業		-7.7	-16.1	-21.2	
		食料品等	6.7	-33.3	-20.0	
		化学・石油製品等	11.1	-5.6	-11.1	
		ゴム製品製造業	-23.8	-28.6	-38.1	
		鉄鋼・金属等	-13.8	-13.8	-20.7	
		一般機械器具	-33.4	-8.3	0.0	
		電信・輸送機器等	10.5	-5.2	-15.8	
		その他の製造業	-10.7	-17.8	-28.6	
		非製造業		-13.6	-19.9	-21.3
			建設業	-10.8	-15.4	-25.0
			運輸・倉庫業	-9.1	-27.2	-12.1
			卸売業	-15.8	-15.7	-15.8
			小売業	-25.2	-24.3	-29.9
			不動産業	-1.8	-1.8	-10.9
			情報サービス	-5.0	-20.0	-10.0
			宿泊・飲食	-15.7	-41.1	-35.3
		対事業所サービス	-9.8	-15.3	-19.6	
		対個人サービス	-13.3	-23.3	-16.9	

3. アンケート内容（オンライン調査）

総務省届出済
神戸市1号

第46回 神戸市景況・雇用動向調査

■対象要件の確認

事業所の場所

■属性

資本金 従業員数（常用・日雇・パートを含めて）

主な業種・大分類・中分類（生産、売上、従業員数などから主な事業を判断し1つ選択）

■景況に関する調査

（設問1～5共通）

それぞれ、直前の四半期と比べてどうか、またはどう思うかをお答えください。

- ・2025年10～12月期（実績）
- ・2026年1～3月期（実績）
- ・2026年4～6月期（予想）

1. 貴社の業況

業況がどちらに向かっているかの質問です。売上、生産、利益、受注などを総合的にご判断のうえ、単体ベースで、できるだけ季節変動を含めずにお答えください。

選択肢：上昇／不変／下降

2. 生産・売上

生産・売上がどちらに向かっているかの質問です。単体ベースで、できるだけ季節変動を含めずにお答えください。

選択肢：増加／不変／減少

3. 原材料・仕入価格

原材料価格や仕入価格がどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：上昇／不変／下降

4. 採算

採算がどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：好転／不変／悪化

5. 資金繰り

資金繰りがどちらに向かっているかの質問です。

選択肢：好転／不変／悪化

第46回 神戸市内景況・雇用動向調査

<結果報告書>

企画実施：神戸市経済観光局経済政策課
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-12

調査委託：株式会社東京商工リサーチ 神戸支店
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 6-1-10